

お客様各位

九州産交バスグループの新型コロナウイルス対策について

九州圏内ならびに熊本県内におきまして、新型コロナウイルスの確認が発表されており、九州産交バスグループは新型コロナウイルス対策として下記事項を実施しております。

【バス車両での対策】

1. バス車内の換気

<高速車両>

- ・「バイレベルエキゾスター（強制排気）」を常時オンにして運行する
- ・「バイレベル」が装備されていない車両は「外気導入」に設定し運行する

<路線車両>

- ・換気扇付き車両は、換気扇スイッチを「排気」の位置で運行する
- ・換気扇が無い車両は、窓を少し開け運行する（開ける時間は状況次第）
- ・一運行後毎に空き時間がある場合は、前ドアと中ドア（後ドア）の扉を開け換気する

2. 車両（内部）の消毒

<高速車両>

- ・車両に除菌スプレーを載せ、一運行終了毎に噴霧する（2月23日から実施）
- ・九州横断バスと夜行バスには除菌水噴霧器を設置し運行中に作動させている

<路線車両>

- ・営業所事務所に除菌スプレーを常備し、乗務前・乗務後などに噴霧する（2月23日から実施）

【運転士の対策】

1. 運転士のマスク着用（1月23日から義務化）

2. うがいの励行

3. 手洗いの励行

4. 体温のチェック（バス営業所・車庫に電子体温計を常備、乗務前点呼時等自主検温）

以上